

健康福祉委員会資料

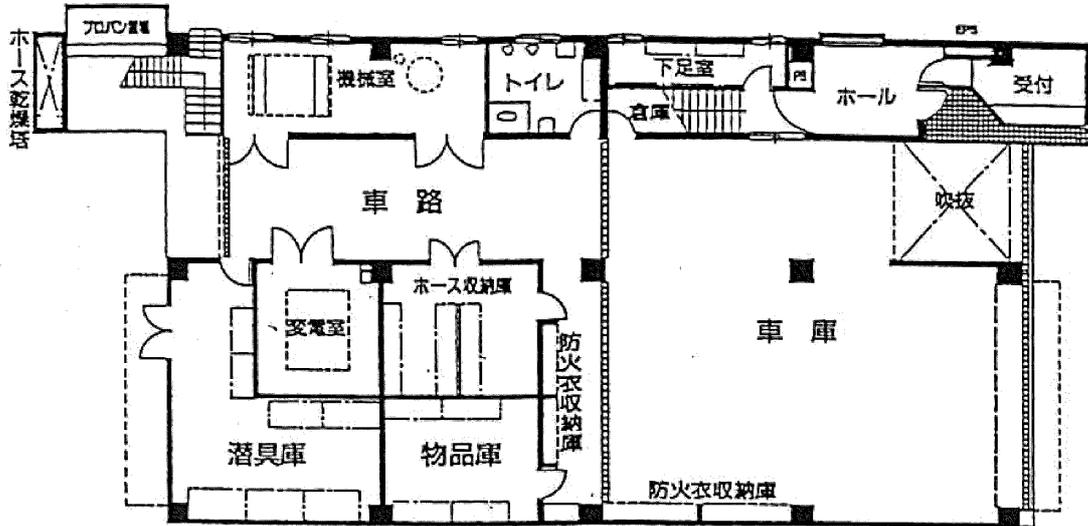
(消防局関係)

- 1 所管事務の調査（視察）
消防艇について

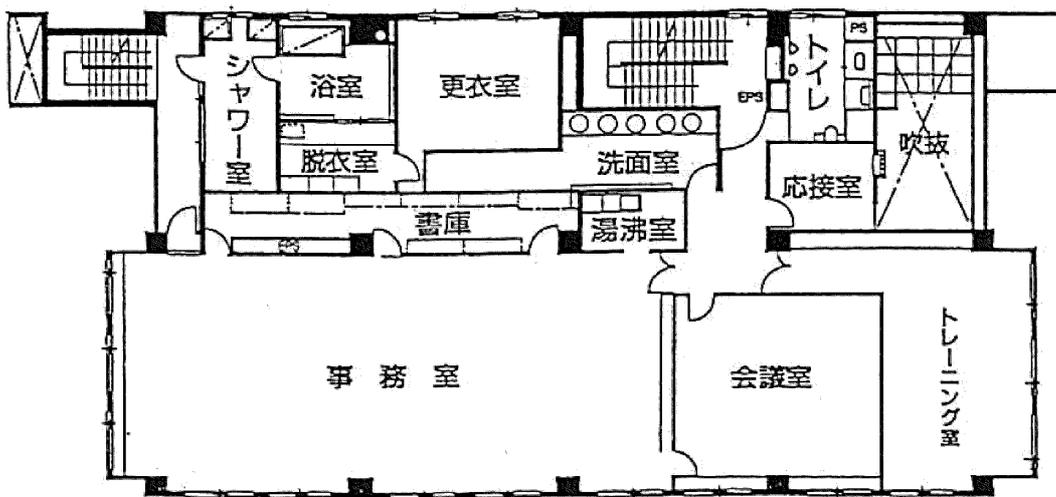
臨港消防署千鳥町出張所の概要

- 1 所在地 川崎区千鳥町15-4
- 2 敷地面積 1,2667.99㎡
- 3 建物構造規模等
 - (1) 事務所
鉄筋コンクリート造3階建て 建築面積 400.98㎡
延べ面積 1,130.24㎡
 - (2) 警防倉庫 18.40㎡
 - (3) オイルフェンス庫 15.18㎡
- 4 特殊設備
 - (1) 船舶給油取扱所(地下タンク・軽油3,800L)
 - (2) ビルジ水回収施設(1,800L)
- 5 配置人員 22人
- 6 配置車両等
 - (1) 化学車 1台
 - (2) 大型高所放水車 1台
 - (3) 消防艇 2艇
- 7 主な装備品等
 - (1) オイルフェンス (20m×16個) 320m
 - (2) 泡消火薬剤
 - ア フッ化たん白消火薬剤 4,700L
 - イ 合成界面活性剤 4,000L
 - (3) 流出油処理剤
 - ア 液状 2,000L
 - イ 粉末 7kg
 - ウ 吸着マット 375枚
 - (4) 水中スクーター 4基

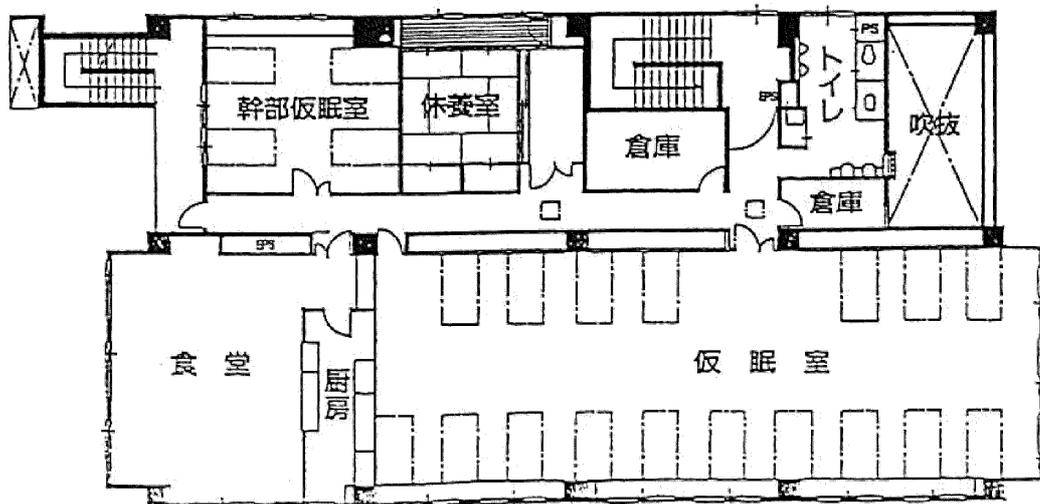
千鳥町消防出張所平面図



1 階



2 階

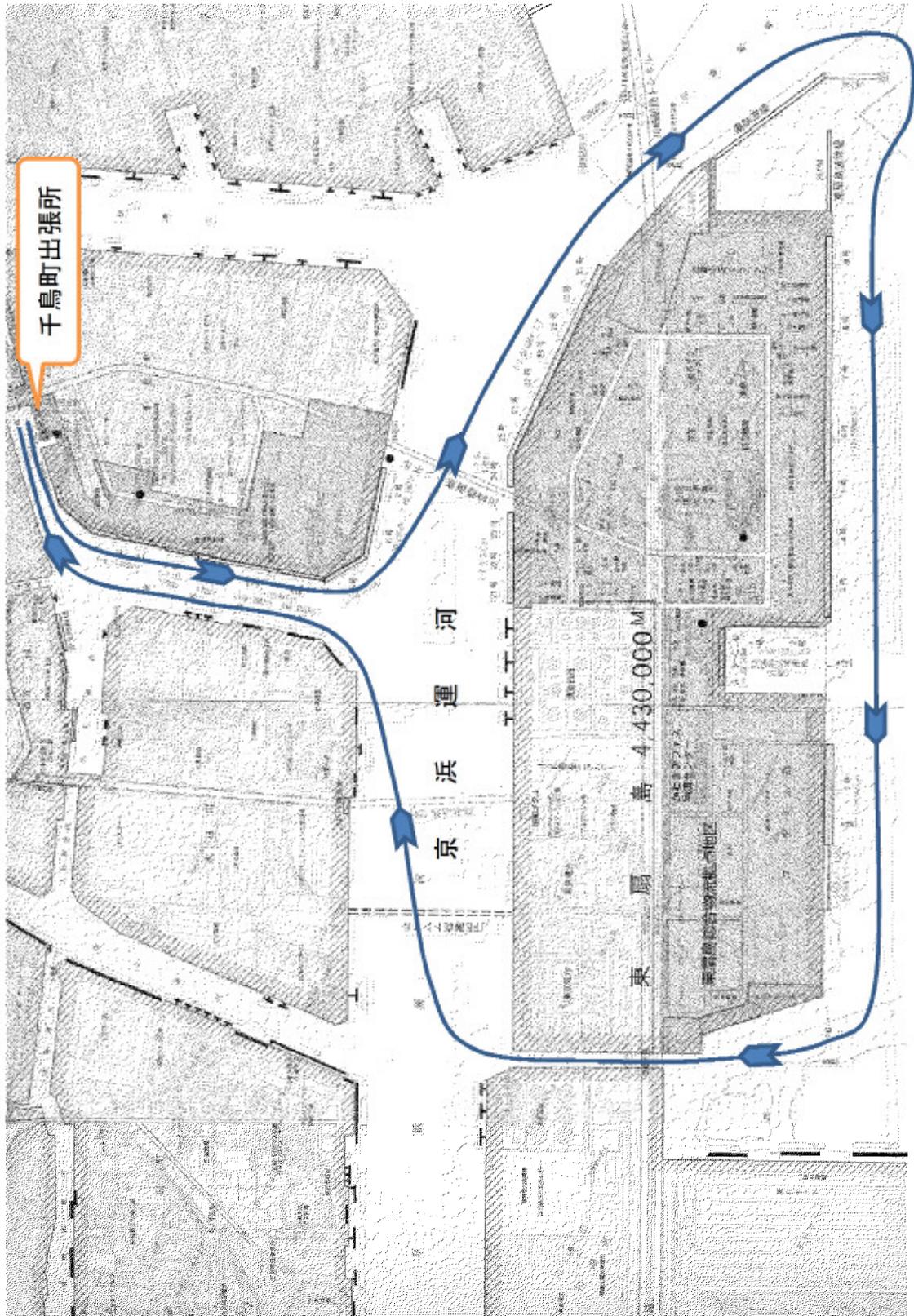


3 階

消 防 艇 諸 元

船 名	第5川崎丸	第6川崎丸
船 質	鋼	鋼
竣工年月	平成2年3月	平成5年3月
総トン数	36.00t	39.00t
全 長	22.00m	20.30m
全 幅	5.20m	5.20m
深 さ	2.20m	2.43m
喫 水	1.7m	1.3m
定 員	23人(1.5時間未満)	20人(1.5時間未満)
主 機 関	2サイクル高速ディーゼル (720馬力)3基	2サイクル高速ディーゼル (720馬力)3基
補 機 関	4サイクル高速ディーゼル (40馬力)1基	4サイクル高速ディーゼル (47馬力)1基
推 進 機	固定ピッチ 2基 可変ピッチ1基	固定ピッチ 1基 可変ピッチ2基
航 行 時 間	8時間以上	8時間以上
最 大 速 力	20ノット	18ノット
巡 航 速 力	18.4ノット	16ノット
ポンプ型式	単段渦巻ポンプ 2基	単段渦巻ポンプ 2基
ポンプ能力	10 kg/cm ² 、11,000ℓ/min (最大放水量 22,000ℓ/min)	10 kg/cm ² 、11,000ℓ/min (最大放水量 22,000ℓ/min 3門)
泡原液 積載量	4,000ℓ (最大泡放射量 21,000ℓ/min)	3,500ℓ (最大泡放射量 21,000ℓ/min 2門)
流出油処理 剤積載量	1,000ℓ	1,000ℓ
その他装備	国際、消防系、署活系無線各1式、 救命ボート1艇、潜水用具2セット オイルフェンス展張回収装置1式	国際、消防系、署活系無線各1式 潜水用具1セット オイルフェンス展張回収装置1式
基本設計	(財)日本造船技術センター	(財)日本造船技術センター
造 船 所	横浜ヨット(株)	横浜ヨット(株)
消防機器	深田キディ(株)	深田キディ(株)
建 造 費	277,070千円 (設計委託3,500千円)	350,200千円 (設計委託3,491千円)

海上視察經路



石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所一覧

(平成28年12月26日現在)

地区別	番号	種別	事業所名	地区別	番号	種別	事業所名
浮島	1	①	東燃ゼネラル石油川崎工場 (東燃化学合同会社 川崎工場・ エア・ウォーター炭酸川崎工場を含む)	千島	26	①	昭和電工(株)川崎事業所(千島)
	2	①	(株)NUC 川崎工業所		27	1	東京油槽(株)
	3	①	セントラル硝子(株)川崎工場		28	1	JXエネルギー(株)千島事業所
	4	①	日本プチル(株)		29	①	(株)日本触媒川崎製造所千島工場
	5	①	日本合成アルコール(株)川崎工場		30	2	日本乳化剤(株)川崎工場
	6	①	JXエネルギー(株)川崎製造所浮島地区 (日本ポリエチレン(株)川崎工場 (浮島地区)、ENEOSグループ(株)を含む)		31	2	川崎化成工業(株)川崎工場(千島)
	7	①	(株)日本触媒川崎製造所浮島工場		32	2	日油(株)川崎事業所
	8	2	花王(株)川崎工場		33	2	日本合成樹脂(株)
	9	2	(株)東芝浜川崎工場		34	2	サンケミカル(株)川崎工場
	10	2	日新倉庫(株)川崎営業所		35	2	東京電力フェUEL&パワー(株)川崎火力発電所
	11	2	新日本理化学(株)川崎工場	水江	36	①	東亜石油(株)京浜製油所(水江地区) (株)ジェネックスを含む)
	12	2	東亜合成(株)川崎工場		37	①	JXエネルギー(株)川崎ガスターミナル
	13	2	興和油化工業(株)川崎工場		38	1	出光ルプテクノ(株)
	14	2	H新商事(株)瓦斯部 川崎充填所		39	2	JFEスチール(株)東日本製鉄所 (京浜地区)・川崎地区
	15	2	新栄運輸(株)川崎化成成品油槽所	扇町	40	①	昭和電工(株)川崎事業所
	16	①	川崎オキシトン(株)川崎工場		41	2	東日本旅客鉄道(株)川崎発電所
	17	2	日本冶金工業(株)川崎製造所		42	2	昭和電工ガスプロダクツ(株) 川崎工場
	18	2	ブルーエクスプレス(株) 関東営業部横浜営業所		43	2	ペトリファインテクノロジー(株)
	19	2	日本コンセプト(株)京浜支店		44	2	川崎天然ガス発電(株) 川崎天然ガス発電所
千島	20	①	日本ゼオン(株)川崎工場	大川・白石	45	2	三和倉庫(株)川崎事業所
	21	①	旭化成(株)川崎製造所		46	2	昭和電工(株)川崎事業所(大川)
	22	①	JXエネルギー(株)川崎製造所川崎 地区(日本ポリエチレン(株)川崎工 場(南地区)・東邦(株)川崎工場・ サンアロマー(株)製造本部川崎工場 を含む)	扇島	47	①	JFEスチール(株)東日本製鉄所 (京浜地区)・扇島地区 (株)JFEサンソセンター 京浜工場 を含む)
	23	1	東西オイルターミナル(株)川崎油槽所		48	1	東亜石油(株)京浜製油所(扇島地区)
	24	1	三菱化学物流(株)川崎油槽所		東扇島	49	1
25	1	セントラル・タンクターミナル(株) 川崎事業所	50	2		東京電力フェUEL&パワー(株)東扇島 火力発電所	

特定事業所 50事業所【第1種事業所】 25(レイアウト17)【第2種事業所】 25
(注)種別欄の○付き数字は、レイアウト事業所を示しています。

石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所分布図

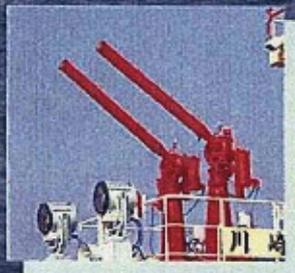
(平成28年12月26日現在)



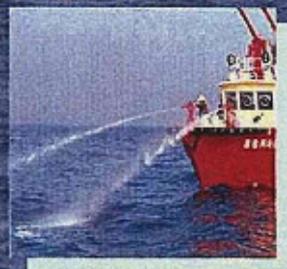
消防艇 第6川崎丸



搭上放水砲
(7,000 ㍓×1)



操舵室上放水砲
(7,000 ㍓×2)



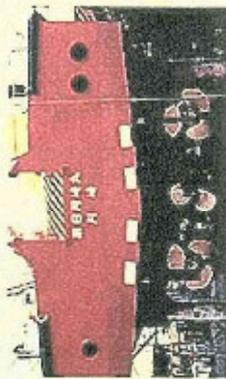
流出油処理ノズル
(200 ㍓×2)



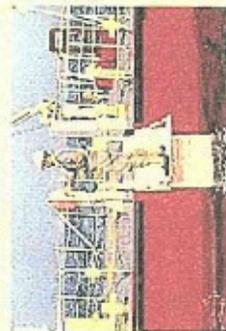
放水集合管
(6口×2)

川崎市消防局

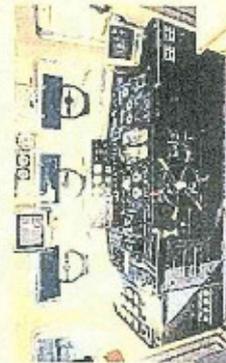
舵及プロペラ



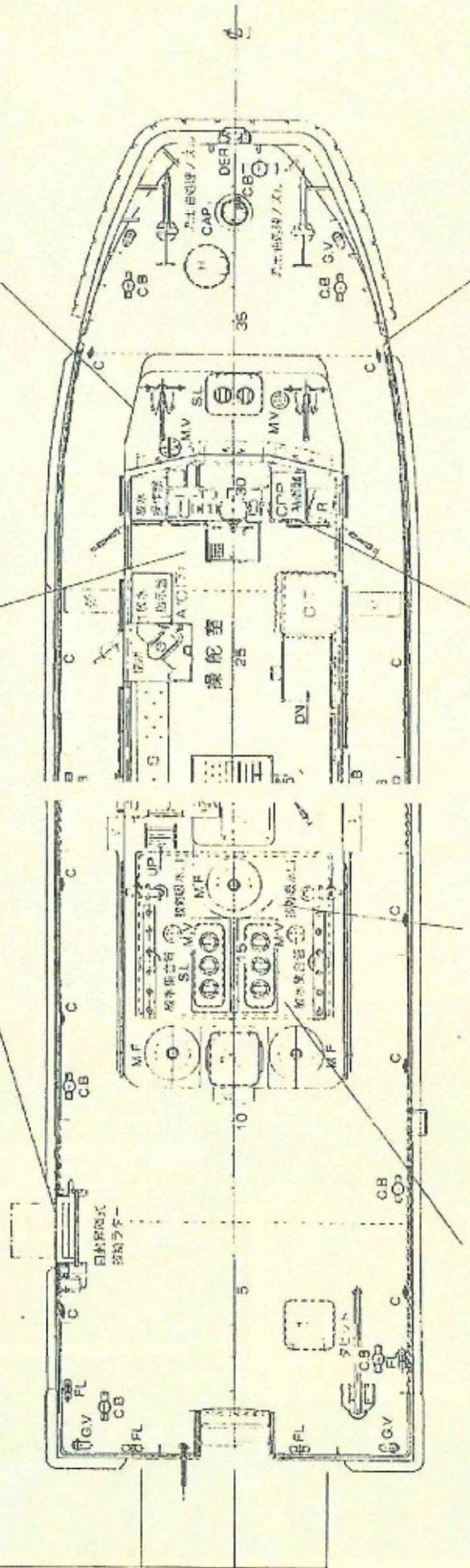
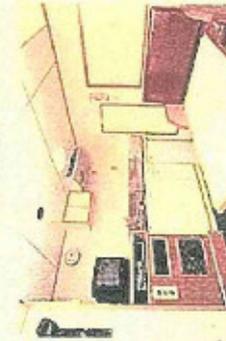
自動兵隊装置



操舵室



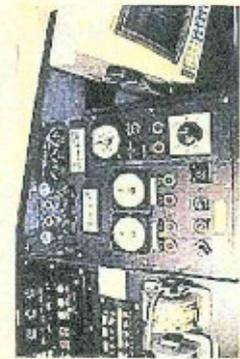
隊員室



主機関



汲排水ポンプ



操船支援装置



側方推進器

要 目

◆ 船 体

全 長	20.30 メートル
最 大 幅	5.20 メートル
深 さ	2.43 メートル
総トン数	39 トン
航行区域	平水区域
速力及び航続時間	巡航 16 ノット(約 29.6km/h) 8 時間以上
最大速力	18 ノット(約 33.3km/h)
乗船定員	20 名

◆ 機 関

主 機 関 (2 サイクル高速ディーゼル機関)	定格 720PS × 3 基
補 機 関 (4 サイクル高速ディーゼル機関)	定格 47PS × 1 基

◆ 消防設備

消防ポンプ	11,000 ㍈/分 × 2 基
最大放水量	22,000 ㍈/分
放 水 砲	遠隔-手動型 10 kg/cm × 7,000 ㍈/分 3 基
救難用吸水装置	90 mm型 2 口
放水集合管	65 mm型 12 口
自衛噴霧装置	120 ㍈型 8 口

◆ 救助救急装置等

潜水用具 1 式、ストレッチャー 3 式、酸素呼吸器 2 式、人口蘇生器 1 式、自動昇降装置 1 式
オイルフェンス巻揚装置 (ガイドローラー 1 式、ダビット (吊上荷重 300kg) 1 式)

◆ 特 長

- ・活動範囲の拡大 吃水線下が約 1.3 メートルなので、水深の浅い場所でも活動が可能である。
- ・操作性の向上 操船支援装置を装備しており、離接岸操作時等の操作が容易である。
- ・高所放水 高い位置に泡放水砲を設置しており、大型船舶火災の消火が可能である。
- ・航行放水 主機関 3 基を設けられ、これらを駆動することにより、航行しながら有効な放水が可能である。
- ・流出油拡散 2 防止 流出油処理剤放射装置やオイルフェンス巻揚装置を装備しており、流出油の拡散防止が可能である。
- ・救助用資材の装備 自動昇降装置及び潜水器具等を搭載しており、人命救助活動に有効である。
- ・救急用資材の装備 救急用資材を搭載しており、救急活動に対応できる。
- ・省力化 船舵室内及び機関室内に放水指示盤を装備し、ポンプの駆動、放水主要バルブの開閉、放水砲の角度等の操作が行なえるよう省力化を図った。